



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東
 コード番号 6324 URL <http://www.hds.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丸山 顕 (TEL) 03-5471-7810
 四半期報告書提出予定日 2021年11月15日 配当支払開始予定日 2021年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	26,341	48.8	3,527	—	3,565	—	2,218	—
2021年3月期第2四半期	17,702	△18.0	△212	—	85	△94.3	△16	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,502百万円(△62.9%) 2021年3月期第2四半期 4,045百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2022年3月期第2四半期	23	05	—	—
2021年3月期第2四半期	△0	17	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	141,323	95,813	67.8
2021年3月期	140,028	110,059	73.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 95,813百万円 2021年3月期 102,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	—
2022年3月期	—	10.00	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	56,500	52.6	8,200	847.0	8,200	499.9	5,500	730.2	57	14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	96,315,400株	2021年3月期	96,315,400株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	52,300株	2021年3月期	52,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	96,263,100株	2021年3月期2Q	96,263,130株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料については、第2四半期決算説明会（2021年11月19日開催予定）当日に当社WEBサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(企業結合等関係)	12
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	13
3. その他	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14
(2) 海外売上高	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）における当社グループの事業環境は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け停止していた自動化投資の回復、半導体の需要増加に伴う設備投資の増加により、需要は高い水準で推移しました。前年度から経済活動が回復した中国に加え、北米、欧州地域においても経済の正常化に伴う市況回復により、総じて拡大基調となりました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、自動車やスマートフォン、家電などの生産自動化に使用される産業用ロボット向けが増加したことに加え、半導体製造装置向け、車載向け、その他一般産業機械向けなどの用途が増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比48.8%増加の263億41百万円となりました。

損益面につきましては、販売費及び一般管理費は増加しましたが、売上高の増加に伴う増益効果の影響により、営業利益は35億27百万円（前年同期は営業損失2億12百万円）となりました。また、主に営業利益の増益に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益も22億18百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円）となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比56.4%増加の217億40百万円、メカトロニクス製品が同21.0%増加の46億円で、売上高比率はそれぞれ、82.5%、17.5%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

中国市場を中心に自動化設備投資が積極的に行われたことにより、産業用ロボット向けの需要が増加したことに加え、半導体、自動車などの需要も高い水準で推移したことにより、半導体製造装置向け、車載向けの需要が増加し、売上高は前年同期比79.2%増加の172億8百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、増収の影響により、前年同期比269.1%増加の52億64百万円となりました。

(北米)

コロナ禍からの正常化が進み、医療機器向け及び半導体製造装置向けの需要が回復したことにより、売上高は前年同期比11.4%増加の29億84百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、増収の影響により、前年同期比5.1%増加の2億14百万円となりました。

(欧州)

北米セグメントと同様に経済の正常化に伴い、主に産業用ロボット向けの需要が増加し、売上高は前年同期比13.4%増加の61億47百万円となりました。また、ハーモニック・ドライブ・エスイー株式取得時に計上した無形資産に係る償却費7億92百万円の負担により、1億10百万円のセグメント損失（経常損失）（前年同期はセグメント損失2億24百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比で12億95百万円増加（前連結会計年度末比0.9%増）し、1,413億23百万円となりました。これは、増収に伴い受取手形及び売掛金が36億54百万円増加（前連結会計年度末比37.3%増）したことに加え、設備投資の実行により有形固定資産が28億2百万円増加（前連結会計年度末比6.7%増）した一方で、保有株式の時価変動に伴い投資有価証券が26億62百万円減少（前連結会計年度末比15.6%減）したことが主な要因です。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて155億41百万円増加（前連結会計年度末比51.9%増）し、455億10百万円となりました。これは、連結子会社ハーモニック・ドライブ・エスイー(欧州セグメント)の完全子会社化にあたり調達した短期借入金が110億円増加（前連結会計年度末比4,853.2%増）したことに加え、支払手形及び買掛金が20億4百万円増加（前連結会計年度末比83.1%増）したことが主な要因です。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比で142億46百万円減少（前連結会計年度末比12.9%減）し、958億13百万円となりました。これは、資本剰余金が73億17百万円減少（前連結会計年度末比24.3%減）したことに加え、連結子会社ハーモニック・ドライブ・エスイー(欧州セグメント)を完全子会社化したことに伴い非支配株主持分が71億70百万円減少（前連結会計年度末比100%減）したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の73.5%から67.8%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて24億55百万円減少し、175億41百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による収入は40億8百万円となりました。（前年同期は61億32百万円の収入）

これは、税金等調整前四半期純利益を35億15百万円、減価償却費を34億43百万円計上したことに加え、仕入債務が19億3百万円増加した一方で、売上債権が35億16百万円、たな卸資産が16億91百万円増加したことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による支出は161億57百万円となりました。（前年同期は7億35百万円の支出）

これは、連結子会社ハーモニック・ドライブ・エスイー(欧州セグメント)の完全子会社化を企図した子会社出資金の取得による支出が147億87百万円あったことが主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による収入は93億53百万円となりました。（前年同期は13億85百万円の支出）

これは、主に連結子会社ハーモニック・ドライブ・エスイー(欧州セグメント)の完全子会社化にあたり調達した資金を含む短期借入による収入が114億円あった一方で、配当金の支払いによる支出が9億63百万円あったことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月6日に公表しました2022年3月期に係る連結及び個別業績予想を修正しております。当該内容につきましては、本日（2021年11月12日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,142,106	18,468,149
受取手形及び売掛金	9,791,509	13,445,767
有価証券	21,874	27,706
商品及び製品	916,359	1,194,411
仕掛品	2,391,998	3,197,954
原材料及び貯蔵品	2,538,193	3,328,460
その他	1,342,329	862,111
貸倒引当金	△26,661	△26,778
流動資産合計	38,117,709	40,497,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,509,415	20,268,550
機械装置及び運搬具（純額）	13,260,982	14,994,356
その他（純額）	8,221,497	9,531,796
有形固定資産合計	41,991,895	44,794,703
無形固定資産		
のれん	15,532,775	15,054,331
ソフトウェア	274,489	281,965
顧客関係資産	19,840,708	19,229,571
技術資産	5,299,162	5,135,937
その他	56,201	24,558
無形固定資産合計	41,003,338	39,726,363
投資その他の資産		
投資有価証券	17,091,091	14,428,921
関係会社株式	96,226	92,599
退職給付に係る資産	1,149,229	1,170,311
繰延税金資産	470,140	479,320
その他	114,140	138,820
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	18,915,227	16,304,373
固定資産合計	101,910,461	100,825,440
資産合計	140,028,170	141,323,222

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,412,798	4,417,506
短期借入金	226,668	11,227,361
1年内返済予定の長期借入金	881,261	844,387
リース債務	305,392	476,526
未払法人税等	837,683	1,529,817
賞与引当金	765,136	948,641
役員賞与引当金	107,064	167,487
製品補償損失引当金	145,084	63,866
その他	2,273,003	3,915,564
流動負債合計	7,954,093	23,591,160
固定負債		
長期借入金	5,220,859	4,834,583
リース債務	2,868,734	3,787,278
繰延税金負債	12,075,672	11,021,868
役員退職慰労引当金	512,872	472,166
その他の引当金	134,089	118,081
退職給付に係る負債	1,049,268	1,058,895
その他	152,765	626,108
固定負債合計	22,014,261	21,918,981
負債合計	29,968,354	45,510,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,100,036	7,100,036
資本剰余金	30,080,004	22,762,168
利益剰余金	54,642,698	55,898,684
自己株式	△38,731	△38,731
株主資本合計	91,784,007	85,722,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,056,041	8,205,833
為替換算調整勘定	1,131,390	1,952,918
退職給付に係る調整累計額	△82,445	△67,828
その他の包括利益累計額合計	11,104,985	10,090,922
非支配株主持分	7,170,822	—
純資産合計	110,059,815	95,813,080
負債純資産合計	140,028,170	141,323,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	17,702,977	26,341,079
売上原価	12,198,062	16,191,488
売上総利益	5,504,915	10,149,590
販売費及び一般管理費	5,717,914	6,622,500
営業利益又は営業損失(△)	△212,998	3,527,090
営業外収益		
受取利息	23,164	9,826
受取配当金	135,216	125,490
補助金収入	11,437	10,378
その他	253,387	161,136
営業外収益合計	423,206	306,831
営業外費用		
支払利息	54,152	63,614
売上割引	10,273	4,680
持分法による投資損失	12,232	3,626
為替差損	33,914	82,829
賃貸費用	2,369	83,658
その他	12,235	29,735
営業外費用合計	125,178	268,145
経常利益	85,028	3,565,777
特別利益		
固定資産売却益	—	2,695
特別利益合計	—	2,695
特別損失		
固定資産売却損	—	21
固定資産除却損	5,024	34,586
特別退職金	169,034	1,792
役員退職特別加算金	37,040	16,690
特別損失合計	211,099	53,090
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△126,070	3,515,382
法人税、住民税及び事業税	301,827	1,514,248
法人税等調整額	△433,074	△289,161
法人税等合計	△131,247	1,225,087
四半期純利益	5,176	2,290,295
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,614	71,678
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,437	2,218,616

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	5,176	2,290,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,039,520	△1,850,208
為替換算調整勘定	977,835	1,043,428
退職給付に係る調整額	22,875	19,217
その他の包括利益合計	4,040,232	△787,562
四半期包括利益	4,045,408	1,502,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,732,110	1,204,553
非支配株主に係る四半期包括利益	313,298	298,179

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△126,070	3,515,382
減価償却費	3,168,626	3,443,599
のれん償却額	453,612	489,512
貸倒引当金の増減額(△は減少)	389	△1,002
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14,524	△46,196
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△14,454	△40,705
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,848	△16,008
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,619	59,308
製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	△19,144	△82,007
受取利息	△23,164	△9,826
受取配当金	△135,216	△125,490
支払利息	54,152	63,614
持分法による投資損益(△は益)	12,232	3,626
固定資産売却損益(△は益)	—	△2,674
固定資産除却損	5,024	34,586
売上債権の増減額(△は増加)	△460,887	△3,516,403
棚卸資産の増減額(△は増加)	△84,138	△1,691,571
仕入債務の増減額(△は減少)	507,877	1,903,305
その他	828,419	613,426
小計	4,125,266	4,594,477
利息及び配当金の受取額	158,350	135,286
利息の支払額	△51,965	△65,966
法人税等の支払額	△226,243	△816,729
法人税等の還付額	2,126,911	161,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,132,318	4,008,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△660,654	△1,578,325
有形固定資産の売却による収入	126,585	3,533
無形固定資産の取得による支出	△24,183	△35,583
定期預金の預入による支出	△193,460	△50
定期預金の払戻による収入	17,980	267,559
子会社出資金の取得による支出	—	△14,724,713
関係会社株式の取得による支出	—	△63,040
敷金及び保証金の差入による支出	△3,045	△29,947
敷金及び保証金の回収による収入	2,367	3,203
短期貸付金の回収による収入	85	—
その他	△1,523	240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△735,848	△16,157,121

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	11,400,000
短期借入金の返済による支出	△400,000	△400,000
長期借入れによる収入	60,000	20,000
長期借入金の返済による支出	△300,771	△443,150
自己株式の取得による支出	△225	—
リース債務の返済による支出	△152,656	△226,592
配当金の支払額	△962,799	△963,401
非支配株主への配当金の支払額	△29,295	△33,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,385,748	9,353,510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,724	339,764
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,987,997	△2,455,461
現金及び現金同等物の期首残高	18,342,443	19,996,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,330,440	17,541,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年6月17日付で、連結子会社(株)ウィンベルの株式及び、2021年7月28日付で、合同会社エイチ・ディ・マネジメントの持分を追加取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が7,317,836千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が22,762,168千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の国内販売において、出荷時から顧客への製品移転時までの期間が通常の間である場合は、出荷時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

子会社株式の追加取得

1. 取引の概要

(1) 結合当時企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 合同会社エイチ・ディ・マネジメント

事業内容 ハーモニック・ドライブ・エスイーへの出資を目的とした特定目的会社

(2) 企業結合日

2021年7月28日

(3) 企業結合の法定形式

非支配株主からの持分取得

(4) 企業結合後の名称

変更ありません。

(5) その他の取引の概要に関する事項

追加取得した持分比率は40%であり、持分比率の合計は100%となりました。

当該取引によりドイツ国の子会社であるハーモニック・ドライブ・エスイーは当社グループの完全子会社となりました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理いたしました。

3. 特定目的会社の持分追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	14,724,713千円
-------	----	--------------

取得原価	14,724,713千円
------	--------------

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

特定目的会社持分の追加取得

(2) 非支配株主との取引によって減少する資本剰余金の金額

7,314,019千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,605,564	2,678,260	5,419,152	17,702,977	—	17,702,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,266,706	2,996	20,484	1,290,186	△1,290,186	—
計	10,872,270	2,681,257	5,439,636	18,993,164	△1,290,186	17,702,977
セグメント利益又は損失(△)	1,426,513	203,716	△224,930	1,405,299	△1,320,271	85,028

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 △1,320,271千円には、セグメント間取引消去△372,958千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△947,312千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 北米地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める米国の売上高2,284,140千円が、欧州地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるドイツの売上高1,941,441千円が含まれております。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	19,585,395	2,989,078	6,198,687	28,773,160	△2,432,081	26,341,079
外部顧客への売上高	17,208,406	2,984,767	6,147,905	26,341,079	—	26,341,079
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,376,988	4,311	50,781	2,432,081	△2,432,081	—
計	19,585,395	2,989,078	6,198,687	28,773,160	△2,432,081	26,341,079
セグメント利益又は損失(△)	5,264,893	214,192	△110,398	5,368,687	△1,802,909	3,565,777

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 △1,802,909千円には、セグメント間取引消去△694,983千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,107,926千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	16,923,018	83.1
	メカトロニクス製品	2,756,279	44.0
北米	減速装置	1,078,348	△10.1
	メカトロニクス製品	910,692	14.2
欧州	減速装置	3,945,344	27.3
	メカトロニクス製品	1,168,765	18.5
合 計		26,782,449	55.3

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	32,808,061	309.4	23,815,764	853.5
	メカトロニクス製品	2,839,305	99.8	1,665,231	478.8
北米	減速装置	2,634,393	83.5	2,141,222	71.0
	メカトロニクス製品	2,487,870	69.4	2,333,969	122.3
欧州	減速装置	5,600,235	62.7	3,748,502	61.5
	メカトロニクス製品	1,618,318	△0.2	1,412,468	83.1
合 計		47,988,185	175.8	35,117,159	329.3

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。
 6. 受注残高は、当第2四半期連結累計期間において日本セグメントを中心に発生した448,568千円の受注取り消し額を差し引いております。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（千円）	前年同期比（％）
日本	減速装置	15,572,573	88.7
	メカトロニクス製品	1,635,832	20.9
北米	減速装置	1,589,151	△2.4
	メカトロニクス製品	1,395,615	33.0
欧州	減速装置	4,578,698	14.0
	メカトロニクス製品	1,569,207	12.0
合 計		26,341,079	48.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第2四半期連結累計期間	
	販売高（千円）	割合（％）
株式会社羽根田商会	2,719,670	10.3

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
4. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
5. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
6. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

(2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	6,147,905	2,984,767	3,220,002	12,352,675
II 連結売上高(千円)	—	—	—	26,341,079
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（％）	23.3	11.3	12.2	46.9

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
(1) 欧州……ドイツ
(2) 北米……米国
(3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。